



## INDEX

- ・ 6月定例会②③
- ・ 委員会審査④
- ・ 一般質問⑤～⑨
- ・ 第1回臨時会⑩⑪

# 6月定例会

補正予算案など

議案8件

報告3件

# 可決・承認

6月定例会は、6月12日に開会し6月28日までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、一般会計の補正予算案をはじめ、条例制定、改正など執行部提出議案8件、報告3件を受け、全て可決・承認しました。

## 議案第1号 長門市一般会計補正予算

### 総額7,077万円増額補正

#### 海岸漂着物

#### 地域対策事業

2,770万円

県の海岸漂着物地域対策推進基金を活用し、ボランティア等では困難な海岸の漂着ごみの回収・処理を実施、海岸の景観と環境の保全を図るものです。

【実施場所】

○青海島海岸

○油谷向津貝香津の浜

#### 老人福祉施設建設及び開設準備経費補助事業

2,580万円

平成25年度に認知症高齢者フ

ループホームを整備する事業者及び開設する業者に対し助成を行うものです。

【対象】

○グループホームひまわり日置

○グループホームゆうなぎ

#### コミュニティ助成事業

自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、次の予算を計上しました。

○自治宝くじ助成事業補助金

湯本まちづくり協議会

250万円

○地域防災組織育成助成事業補助金

板持3区自治防炎会

180万円

## 議案第3号 長門市応急診療所条例

### 診療所の課題は医師確保

本議案は、これまで「長門市休日夜間診療センター（仮称）」として整備を進めてきましたが、このたび名称を「長門市応急診療所」とし、本年10月から運営を開始するため、その設置及び管理

に関する事項を定めるものです。日曜日の医師については長門市医師会が対応しますが、平日夜間は調整中であり、医師の確保が今後の大きな課題となっています。引き続き長門市医師会と相談しながら、医師確保に努めているところです。



●管理者 長門市医師会長

●場所 仙崎198番地1 (長門総合病院前)

●診療科目 内科・小児科

●診察日・診察時間

・月曜日から金曜日

(国民の祝日・1/2、1/3、12/30、12/31は除く)

午後7時～午後10時

・日曜日

午前9時～午前12時、

午後1時～午後5時

※土曜日は休診です

## 議案第8号 工事請負契約

### 工事請負契約

東深川浄化センターし尿等前処理（汚泥貯留）施設整備工事（土木・建築）の工事請負契約の締結について、条件付一般競争入札を実施した結果、2億6,985万円で安藤建設・

中原組特定建設工事共同企業体と契約することになりました。

## 議案第6号 人権擁護委員

### 人権擁護委員

人権擁護委員の候補者として中川美智子さんが推薦され、適任と認められました。

# 委員会では 賛成多数で可決

6月25日に追加上程された議案第7号「長門市一般職等の臨時特例に関する条例」を総務常任委員会に付託し、その結果、賛成なしで否決しました。28日の最終本会議では、反対と賛成にそれぞれ2人ずつが討論を行うなど白熱した議論が繰り広げられ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

■議案第7号  
「長門市一般職等の給与の臨時特例に関する条例」  
国が東日本大震災の復興財源の確保のため、国家公務員の給与減額支給措置に準じて、地方公務員にも必要な措置を講ずるよう要請が行い、これを前提とした平成25年度の地方交付税を減額する方針を示したことから、市では一般職員は給料月額平均5・9%、管理職手当は一律10%を減額、市長・副市長・教育長も給料月額から10%の減額をするもの。

**国の政策誘導手段 容認できない**  
岡崎 巧 議員

国が地方公務員給与の引き下げを要請し地方固有の財源である地方交付税を地方公務員給与削減のための政策誘導手段として用いたことは到底容認できない。本来地方自治自らが議会の議決のもと自主的に決定すべき職員給与を国の関与で歪めているのか。このことは地方自治体の裁量や主体性を侵害する以外の何物でもなく、看過できず認められない。

**財政状況を考慮 苦渋の決断**  
三村建治 議員

今回国の要請により地方交付税の減額は長門市にとって1億400万円もの影響があると試算される。財政状況を考慮すれば最終的には市民へのしわ

寄せが予測される。今年度予定していた事務事業の圧縮、見直しも発生する可能性あり。

地方公共団体当局の苦渋の決断とその要請を受け、真摯なる交渉の上、職員組合と合意形成がきちんとなされている。

**地方自治の本旨を 尊重すべき**  
武田新二 議員

地方交付税法によれば、国は交付税の交付にあたっては地方自治の本旨を尊重し、条件を付けたまま使途を制限してはならないと規定している。

今回国が地方公務員の給与削減を前提に地方交付税を減らすというのは、地方自治の本旨を尊重せず不当な干渉。地方自治法第1条の2において国の役割として住民に身近な行政はできる限り地方公共団体に委ねることを基本として、地方公共団体との間で適切に役割を分担す

るとともに地方公共団体に関する制度の策定及び施策の実施にあたって地方公共団体の自主性及び自立性が十分に発揮されるようにしなければならぬとある。今回の国の要請はこの条文にも反する。

**労使交渉結果を尊重し 現実的対応が必要だ**  
重村法弘 議員

国が地方公務員給与削減を前提として交付税措置したことは誠に遺憾だが、市民生活にもっとも近い地方議会には現実的な対応が必要であると考え。

財政状況を考慮すれば市民サービスへのしわ寄せが予測される中、公務員としての使命感・重責を果たそうとされた362名組合員に敬意を表し、議会としても給与削減の妥結・合意に至った労使交渉結果を重く受け止め尊重するべきだ。

条例案賛否 (50音順・議長除く)

岩藤睦子	賛成
金崎修三	賛成
先野正宏	賛成
重廣正美	賛成
重村法弘	賛成
末永卓也	賛成
長尾 実	賛成
南野信郎	賛成
三村建治	賛成
村田信二	賛成
山根勇治	賛成
吉津弘之	賛成
大草博輝	反対
岡崎 巧	反対
武田新二	反対
林 克好	反対
林 哲也	反対

## 6月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	平成25年度長門市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
2	長門市子ども・子育て会議条例	原案可決
3	長門市応急診療所条例	原案可決
4	長門市地域福祉センター条例及び長門市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
5	長門市監査委員の選任について	原案同意
6	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
7	長門市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例	原案可決

議案番号	件名	結果
8	工事請負契約の締結について(東深川浄化し尿等前処理(汚泥貯留)施設整備工事(土木・建築))	原案可決
報告1	平成24年度長門市一般会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報告2	平成24年度長門市公共下水道事業特別会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報告3	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	承認

# 委員会審査

各常任委員会では、本会議から付託された議案に対し、専門的に調査・審査を行い委員会としての賛否を決定します。この決定は本会議にて委員長から全議員に審査の経緯・結果が報告され、それをもとに、議会としての最終判断にいたります。以下審査内容を報告します。

## 経済建設常任委員会

### 藻の種苗海に投入

藻場再生事業について、委員からこの事業の今後の課題は何かとの質疑があり、執行部から藻の種苗を育て、海に投入する活動は投入後の藻は根付き成長しているのは確認されており、事業の重要性は認識されており、漁業者の高齢化に伴い、実施できる区域が限定されることや、今後の継続的事業実施が課題との説明がありました。

## 文教厚生常任委員会

### 消費生活センターの周知を

庁舎内に開設されたセンター機能拡充と相談体制の充実を図るために約150万円増額予算が計上されているが、2か月経過し市民からどのくらいかの相談があったのか、また市民の消費生活に関する相談、問題解決の助言をする窓口開設の周知はどのように図られているのかとの質疑があり、執行部から、4月には16件、5月が6件の相談がすでに寄

せられた。今後モリーフレットや啓発備品の配布により窓口開設について市民に伝えていき、窓口の更なる機能強化と充実を図っていきたいとの説明がありました。

### 教育材料備品の充実を

教育費の理科用教材備品整備費の審査において、委員から現在の整備状況について質疑があり、執行部から備品の現有率は、小学校の理科で34・3%、算数7・7%、中学校では理科22・4%、数学3・8%と整備が遅れている現状の説明がありました。

また委員から整備の状況を改善するためにも国の補助事業だけに頼るのではなく、当初予算に組み入れるなど計画的な予算措置を求める意見が出され、今後年次の計画と、改善に努める答弁がありました。



## 総務常任委員会

### 湯本まちづくりに2500万円

議案第1号一般会計補正予算について、委員から企画費において自治宝くじ助成事業補助金に關し湯本まちづくり協議会に2500万円計上されているが、他の団体で該当する事業をおこなう場合申請可能なかとの質疑があり、執行部から、他の団体でも地域コミュニティ活性化につながる事業であれば可能との説明がありました。

## 注目!

### 一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例

### 賛成なしで否決

長門市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例については、執行部から実質1億400万円の交付税減額が見込まれるとの説明があり、委員から国が押し付けてきた交付税減額、他市では職員削減など地方自治体の行政改革に努めてきた中で給与削減を見送った市町があるが本市はどうかの質疑があり、執行部から、本市では合併後114

人の職員削減、諸手当ての見直しなど8億8500万円の削減、改革には努めてきたが、今回交付税減額を市民転嫁するべきではないと考える職員給与削減を決定した。また委員から交付税減額分を財政調整基金等で補う議論はなかったのかとの質疑があり、基金は他の施策に活用を目指し積み立てている。今回の予測される歳入欠陥を基金で補うことは考えておらず苦渋の決断をした。

さらに委員から、本当に来年3月末までの時限措置なのかとの質疑があり、執行部から、総務大臣は今回の給与削減は平成25年度に限る臨時、異例の措置であると発言しており、また市長も職員組合との交渉の中で、今後このような国の要請に基づく給与削減は行わないことを約束したとの説明がありました。

**採決前には委員間討議も**

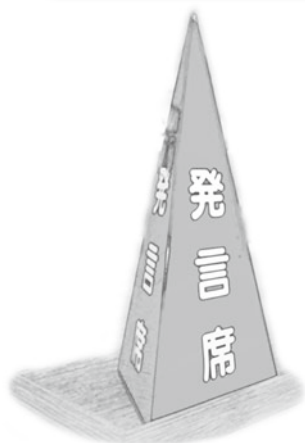
委員会では、採決前に議案に対する認識を深めるため、委員間討議を実施。反対討論の後、採決では委員長を除く委員5人全員が反対し、委員会は議案を否決しました。



# 一般質問

一般質問は市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や、市政に対しての意見や要望を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

改選後初めての一般質問となった6月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。



## 雇用対策の充実が大事だ



先野正宏 議員

**問** 市長は、平成25年の施政方針の中で、重要な施策の1つとして雇用の場の創出、拡大を挙げている。24年の雇用対策の反省点を踏まえ、今後の雇用対策をどう取り組むのか。

**答** 昨年から実施している地域雇用の増加があり、本年度は40人の新規雇用を見込んでいる。雇用創出に一定の効果はあると考えている。

第1次産業従事者の所得の向上を目指す成長パターンを確立し、後継者や新規就業者の確保につなげ、観光産業への波及効果や交流人口の拡大等により、産業全般で雇用の場の創出を図っていききたい。

**問** 住民から市内で就職したいのに、職がないという話をよく聞きますが、今後長門市民に限定した雇用、就職のデータは必要ではないか。

**答** 基礎的なデータを持っておくのは必要だと考えている。

## 時差出勤を活用すべきだ

**問** 長門市の経済活性化策としてコールセンターの企業誘致を考えてはどうか。

**答** インフラの光ケーブル等が敷設されれば可能だろうと思う。長門の特徴を生かしながら可能なものについては、研究していく必要がある。

**問** 市民窓口を充実させるため、時差出勤を活用してはどうか。

**答** 時間外に住民票や戸籍謄本などが交付されていない市は当市を含めて2市だが、時差出勤等こういった形でできるのが研究したい。



さらなる充実が求められる市民窓口



重廣正美 議員

## 経済効果の高い リフォーム事業の継続を

**問** 住宅リフォーム資金助成事業は、過去2年間受付開始後数ヶ月で当初予算を使い切り補正予算で対応するなど、大変好評の上、市民生活向上に寄与している事業と考えるが、過去2年間の実績をどう評価されているのか。

**答** この事業は、地域経済活性化のため、平成23年度から2年間の事業として開始した。  
23年度3億5,900万円、24年度2億4,200万円の工事金額となっていることから、十分な地域経済の活性化効果と、市民生活向上にも寄与したと認識しており、高い評価をしている。

**問** 市民に喜ばれ、地域経済への波及も高いこの事業継続をどう考えているのか。

**答** 市民の需要も高く、問い合わせも多いことから、25年度も「地域経済活性化住宅リフォーム資金助成事業」として継続実施している。来年度以降については、今年度事業の、状況や経

済状況を勘案しながら検討したい。

**問** この事業の要綱には、同一住宅、同一人に対して1回限りの補助とあるが、経済効果や市民の需要などから利用回数など、要綱見直しを考えるべきではないか。

**答** 過去2年間は問い合わせも多  
く、10月頃に締め切った経緯がある。まだ制度を認識されていない市民や、利用されていない市民も多く、利用回数の要綱を見直すには時期として早いと思う。

来年度国庫の事業を活用して、木造住宅と健康の関係調査事業を前向きに実施したいと考えている、その結果によっては、今後大胆な取り組みも考えてみたい。



市内業者によるリフォーム現場



岡崎 巧 議員

## 積極的な水産振興を

**問** ながと成長戦略指針では漁業形態は年間事業収入が平均560万円、所得は150万円であり、また新規漁業就労が難しいなど、厳しい状況とあるが、水産業振興の課題と対策についてどう認識しているのか。

**答** 生産の面では、水産資源の減少や漁業者の高齢化、担い手不足、漁獲量の減少がある。市場流通や経営の面では、消費者の魚離れによる価格の低迷や燃料、資材の値上がりによる経費の増加がある。水産業をはじめとした第一次産業の振興は、大変厳しい状況にあるが水産業の厳しい状況を打破するといった強い意志を持ち、市と漁業者、漁業団体が一体となって取り組んでいきたい。

**問** 漁獲量が減っているなか、放流事業等についても数値に基づいた検証が必要だと思いがどうか。

**答** 養殖、種苗放流など漁獲量の減少対策については、今後データ等を積極的に取っていききたい。

## 農業振興の課題と対策は

**問** 農業振興の課題とその対策についてどう認識しているのか。

**答** 農業を取り巻く環境は近年特に厳しさを増し、水稲では圃場整備が進んだ平野部の集落営農法人の設立が進む一方で、山間部では農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の拡大が進行している。

また畜産業も、飼育農家の高齢化や後継者不足による規模縮小等により、市場での長州ながと和牛に対する高い評価にもかかわらず農家の飼育頭数は減少している。今後の国の動向に十分注視しながら農業振興につながる事業等に積極的に取り組んでいきたい。



水産業の後継者不足は深刻



岩藤睦子 議員

## ニーズを把握し 子育て支援制度の充実を

**問** 子育て支援センターが設置されて10年以上経過したが、さらなる利用促進を図るため、今後子育て支援センターをどのように充実させていくのか。

**答** 親子の触れ合いや親同士のつながりを深めることなど、子育てに對する不安や悩みを解消して頂くことを目的に実施している事業で、現在、市内の7カ所に子育て支援センターを設置し、週に4日から5日間開所して、子育て家庭の支援に努めている。

さらに、子育てサークル等各種団体との交流や地域行事等に積極的に参加することとしており、地域との触れ合いの場を増やすことで今後の利用促進につながるものと期待している。

**問** 子育て中のサークルをサポートする体制作りはできないか。

**答** 子育てサークルの活動のために部屋を貸しており、新しいサークルづくりにも発展していくものと期待し

ている。また、アドバイザーについては、各子育てサークルに協力をお願いしボランティアとして参画して頂くことにより、市民協働の取り組みにもつながっていくものと期待する。

**問** 子育て支援策を進めていくためには、子育て家庭のニーズをしつかりと把握することが大切であり、把握することによって様々な制度の充実を図っていくべきではないか。

**答** 子ども子育て会議を設置し、委員の意見を聞きながら来年度の秋までには子ども子育て支援事業計画を策定する考えだ。

こうした中で今年度子育て家庭等を対象としたニーズ調査を実施することにしており、この調査での意見を計画にしっかりと反映させていきたい。



子育ては一人で悩まないで



重村法弘 議員

## 出荷者協議会への 継続的なサポートを

**問** 農産物等直売実証実験店舗『まると長門旬市場』の運営が、今年度から出荷者協議会に切り替えられたが今後の方向性はどうか考えているのか。

**答** 運営主体は協議会となったが、今後、市、JAが一体となりサポートしていく。

**問** ながと成長戦略指針では、直売所計画は水産業部門に記述されているが、仙崎を考えているのか。

**答** 水産物に関しては、仙崎のプラントを前面に出していきたい。道の駅の拠点は2カ所建設は必要ないと考えている。水産物実証実験店舗も取り組むため、それを含めて検討したい。

## 地域公共交通は市民協働で

**問** 日常の市民生活に不可欠な、公共交通の維持確保のため、昨年度地域公共交通計画が策定されたが、今後

の具体的な取り組みについてはどうなるのか。

**答** この計画は基本目標を設定し実施していくが、まず今年度は、交通不便地域での新たな公共交通の導入を考えている。

向津具、俵山地区において地域住民とともにデマンド交通の実証運行を開始したいと考えている。

**問** この運行事業について、市民協働も視野に入れて考えるとあるが、どのような考えなのか。

**答** 運行までのルート設定をはじめそれぞれの地域住民の参加と協力なくしては考えられない。運行自体も地域の団体、組織等も考えている。



自主運営されている「まると長門旬市場」



三村建治 議員

### 老朽化した施設の維持管理をどうするのか

**問** 安全、安心なまちづくりの中で、社会環境の整備は大変重要であり、急がなければならない。

油谷、掛瀧川に架かる大鼓橋は老朽化が進み通行制限が敷かれている現状にあるが、今後の管理の対応はどうか。

**答** 安心、安全に暮らせる環境をつくるのが、市の役割である。

大鼓橋については、架設後65年が経過し橋脚や橋面の老朽化が進み、現在歩行者、二輪車のみ通行制限をしている。

本格的な改修は、多額の費用と時間を要することなどから、当面は現状の維持管理に努めていきたいと考えている。

今後は、関係自治会とも協議を重ねながら橋の維持管理の方向性を検討していきたい。

**問** 油谷、伊上浦（役神手）の流砂と水門維持管理はどうか。

**答** 以前は、農業における、海水流入防止施設であったが、現在は

宅地化等により、その役割りを失っている。土砂の堆積等が問題となっているため、今後必要に応じて土砂の堆積物の除去をはじめ、水門の補修など、排水機能を失わないよう維持管理に努めていきたい。

**問** 油谷、蔵小田川の水門は、十分に機能しているのか。

**答** 下蔵小田、内無田地区27ヘクタールの圃場への用水を担う重要な施設で、内無田水利組合によって管理されており、農業用取水施設として十分に機能している。

また、掛瀧川水位の上昇の際も、浸水被害の拡大防止など、水門の機能は十分果たしていると認識している。



油谷、掛瀧川に架かる大鼓橋

### 下水道事業の課題にどう対応するのか

**問** 都市計画税は、過去の下水道債の償還と当該年度の建設改良費の一部に充てられており、平成23年度は約6,600万円を充当しているが、今後

下水道料金の値上げとなれば都市計画税課税区域の市民は、税負担とあわせて二重、三重にも負担感が大きくなるのではないか。

**答** 公共下水道事業において、今後施設の老朽化対策として管路や処理施設の更新事業が計画をされており、

過重な負担をお願いしている認識はあるが、すぐに縮小廃止ということまでは考えていない。

**問** 高齢のひとり暮らしや二人暮らしの世帯が増える中、基本料金の水準が妥当かどうか検討すべきではないか。

**答** 下水道料金の統一に向け、その調整も検討する必要があると思っている。



林 哲也 議員

### 農漁業の後継者育成にも数値目標を

**問** ながと成長戦略指針では、農漁業で年間事業収入1,000万円を目指すことがうたわれているが、後継者の育成にも数値目標を持つべきではないか。

**答** 後継者についても行動計画に基づき数値目標を定めていく。

**問** ながと成長戦略指針を具体化するうえで、自治体経営のトップである市長の取り組み姿勢が鋭く問われているのではないか。

**答** リーダーシップを発揮しながら取り組んでいきたい。



課題山積の下水道事業（東深川終末処理場）





山根勇治 議員

### 有害鳥獣対策は

**問** 農業振興を図ろうとしている中で、依然として有害鳥獣による農作物の被害が絶えない。市長の施政方針で有害鳥獣の捕獲強化を図るとされているが、今後市としてどのような取り組みを考えているのか。

**答** 本年度は捕獲対策を強化するために捕獲単価を増額することにも、年2回下関市と行っている共同捕獲に要する費用を新たに計上し、また侵入防止柵の計画的な設置を組み合わせ、有害鳥獣対策を積極的に推進していく。

**問** 市内の銃猟免許取得者が減少している状態も考え、総合的にどう考えているのか。

**答** 旧長門市では市の職員に狩猟免許を取らせるといった事もあったが、23年度から県が新規狩猟免許の取得者に補助している上に上乗せする形で銃猟免許で2万5,000円、農で7,500円の補助をしている、その事による駆除隊の増員等という活動状況を見ながら判断していく。

### 第3次経営改革プランと 中期財政見通しについて

**問** 第2次長門市経営改革プランの取り組み期間が平成24年度が最終年となっているが、第3次経営改革プランの策定と中期財政見通しについてどのように考えているのか。

**答** 第3次長門市経営改革プランについては民間からなる行政改革懇話会の意見を聞き、新たな行政改革の指針となる行政改革大綱を初め、改革項目を示した第3次長門市経営改革プランを策定し、さらなる行財政改革の推進に取り組んでいく。



捕獲わな取り扱い研修の様子

## 委員会レポート

# ブリーチング訓練視察

総務常任委員会

長門市消防本部（中央消防署、西消防署）は、6月4～6日までの三日間、解体予定の旧油谷中央公民館建物を利用し、火災防ぎよ訓練やブリーチング訓練を実施しました。訓練初日、総務常任委員会は、災害に強いまちづくりを進めるため、訓練現場を視察しました。

もので、初めて実施されたものです。これまで経験したことのない災害に對しても、対策を考え、準備することが求められており、村田和巳第2分隊長は、「今日はとても貴重な体験ができたと思います」と話しました。自然災害や事故災害を完全に予知できなくても、日々の訓練を通じて、対策を講じ、被害を減らすことはできます。

ブリーチングとは、要救助者を救出するために鉄筋コンクリートの壁や床にエンジンカッターや電動ハンマー・ドリルなどを使用し、開口部を作る救助方法・技術のことです。壁の向こう側に要救助者がいる場合は「グリーンブリーチング」、壁の先に要救助者がなく、荒くスピーディーに破壊する場合は「グレイブリーチング」といいます。ブリーチング訓練の目的は通常の業務では実施することが困難な訓練を実際に体験することで、各級指揮者及び隊員の火災防ぎよ並びに救助技術の向上と警防技術の伝承を図り、さらに、中央消防署と西消防署が合同で訓練を実施することにより、知識、技術、情報を共有し、円滑な現場活動体制を構築する



※写真は、床に三角形の穴を開け、ガレキ等を落とさないように救出口を作り、階下の人を救助する訓練。

# 第1回臨時会

新しい議会構成を決める議員改選後の初議会（第1回臨時会）を5月10日に開き、正副議長選挙や各委員会の委員の選任などを行いました。また、専決処分承認や教育委員の選任など、執行部提出の7議案を承認・同意しました。

## 議会改革の先頭に立つ

### 三輪徹議員を議長に選出

初議会では議長がいないため、年長議員（出席議員のなかで最も年齢が高い人）が臨時議長になって議長選挙が行われました。

#### 市民に開かれた

#### 正副議長選挙

議長選挙では、「議長に意欲のある議員は、市民に開かれた本会議の場において所信を明らかにすべきだ。それを聞いたうえで投票に移してほしい」との動議（会議の進行または手続きに関し、議員から議会に対して行う提案のこと）が出され、議会は動議を認め、本会議の場で所信表明（自分の考えや信念、方針などを述べること）の後、投票に移されることになりました。

議長選挙には4人の議員から意思表示があり、それぞれ登壇して所信表明を行いました。正副議長の選挙は、選挙権と被選挙権を有する者が同じです。選挙に際しての立候補の意思や所信表明は被選挙人資格を拘束

するものではありません。つまり、本来は議員全員が候補者であり、意思表示の有無に関係なく、自分も含めて誰に投票しても構わないのですが、議長選挙における議員の所信表明は、投票の明確な判断基準になり、市民に対する公約ともなるものです。

無記名投票の結果、「市民の信頼に応えられる議会を構築していくために、私自身が議長として、議会改革の先頭に立ち、努力と行動を続けることを約束し、中立、公平、公正な議会運営に努めていく決意である」との所信を述べた三輪徹議員を議長に選びました。  
また、副議長選挙では長尾実議員を選んでいきます。

#### 議長選挙

（有効投票 18 票）

三輪 徹 9 票  
武田新二 5 票  
岡崎 巧 3 票  
山根勇治 1 票

#### 副議長選挙

（有効投票 13 票・無効 5 票）

長尾 実 13 票

#### 任期満了による 教育委員の選任など

地方税法の一部を改正する法律（平成25年3月30日公布）により、「長門市税条例の一部改正」（個人住民税の住宅借入金等特別税額控除等の適用期限の延長・拡充のほか、延滞金や還付加算金の利率の引き下げなど）、関連する「長門市都市計画税条例の一部改正」の専決処分、進特別措置法による固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正」の専決処分を承認しました。

また、長門市監査委員の選任（議員のうちから選任）や長門市固定資産評価員の選任（市税務課長の宮川寛司氏を選任）、任期満了による長門市教育委員会委員の任命（現教育委員の江原健二氏、中野美佐子氏を任命）など、人事議案を同意しました。

※専決処分とは：本来議会の議決が必要な事項について、議決をせずに首長自らが決めること。緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限られ、処分後に議会に報告し、承認を求めなければなりません。



就任のごあいさつ  
長門市議会議員  
三輪 徹

改選後5月10日に行われました臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

市民の代表として選ばれた議員で構成される市議会は、地域の様々な住民ニーズを幅広く行政に反映させる場であり、常に市民の側に立ち、市民生活の向上のために使命と責任を果たさなければなりません。

そのために、議会は時代の求めに応じ、市政に対する厳格なチェック機能を発揮すべく、監視機能を一段と高めていくことはもちろん、さらに自らが様々な政策や条例を提案する政策立案機能を強化しなければなりません。

そして議員同士で様々な角度から意見を出し合い、課題や論点を戦わせて、より良い合意形成が図れる活発な議会を築いていく必要があります。

私自身も議長として、市民皆様の信頼に応えられる議会を構築していくために、議会改革の先頭に立ち、努力と行動を続けることをお約束させていただくとともに、中立、公平、公正な議会運営に努めてまいります。

「市民に開かれた議会」「市民のために行動する議会」そして「市民から信頼される議会」、それに取り組む議会の姿を知っていただく一助に、この議会だよりがお役に立てれば幸いです。

市民の皆様におかれましては、長門市議会に対しまして、一層のご理解、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

## 議会選出 監査委員に

### 金崎修三議員



臨時会では、議会から推薦された金崎修三議員(64)を監査委員として選任する人事案が、執行部から提案され、全会一致で同意しました。

市の監査委員(識見を有する者1名と議会選出の1名)は、選挙管理委員会など他の行政委員会と異なり合議制の執行機関ではなく、監査の執行については独立的な権限を有する独任制の機関です。

長門市議会には議会の下審査機関として各委員会が設置されています。時代の変化に対応して行政事務が複雑多様化し、専門化の傾向を強めつつあることから、議案の審査及び調査において万全を期すため、専門的な審査を行い、議会の機能充実を図るものです。各委員会の定数と所管事務は次のとおりです。

- 総務常任委員会(6人)  
企画総務部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、消防本部の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属さない
- 議会だより特別委員会(6人)  
議会広報紙の編集・発行及び議会広報紙の充実に関する調査・研究。

## 各委員会の所管事務

### 議会の機能充実を図る

- 文教厚生常任委員会(6人)  
市民福祉部、教育委員会の所管に属する事項。
- 経済建設常任委員会(6人)  
経済観光部、農業委員会、建設部の所管に属する事項。
- 議会運営委員会(6人)  
議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項。

## 議 会 構 成

議 長 三輪 徹      副議長 長尾 実

<b>総務常任委員会</b> 委員 長 重廣正美 副委員 長 村田信二 委 員 大草博輝 林 哲也 岡崎 巧 武田新二	<b>文教厚生常任委員会</b> 委員 長 三村建治 副委員 長 岩藤睦子 委 員 三輪 徹 林 克好 重村法弘 末永卓也	<b>経済建設常任委員会</b> 委員 長 南野信郎 副委員 長 吉津弘之 委 員 金崎修三 山根勇治 先野正宏 長尾 実	<b>議会運営委員会</b> 委員 長 林 哲也 副委員 長 先野正宏 委 員 三村建治 重廣正美 重村法弘 南野信郎	<b>議会だより特別委員会</b> 委員 長 先野正宏 副委員 長 末永卓也 委 員 林 哲也 重村法弘 岩藤睦子 吉津弘之
---	---	---	---	--

## 表紙の説明



今回の表紙は仙崎地区で行われているスポーツ愛好会の様子です。

仙崎スポーツ愛好会は仙崎地区で健康増進や地区の親睦と交流を目的に昭和49年に発足しました。

チームは同級生毎に組織され、現在24チームが登録されています。

年間を通じてソフトボール、バレーボール、卓球、グラウンドゴルフの4種目が行われています。

最年長チームは75歳、最年少チームは39歳ですが、必ずしも若いチームが勝つとは限らないとか。

この日は行われたのはグラウンドゴルフ。会場となった仙崎小学校グラウンドにはたくさんの笑顔があふれていました。

ほとんどのチームは試合のあと打ち上げを行うとのこと。健康増進だけでなく地元経済にも寄与している仙崎スポーツ愛好会でした。



よろしくお願ひします

ぞかいだより  
とくべついいんかい

メンバー紹介

山口県長門市議会事務局

〒759-4192

山口県長門市東深川1339番地2

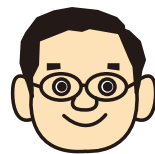
TEL 0837-23-1248 (直通)

FAX 0837-22-6353

HP <http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/sikai/>

Email [sikai.shomu@city.nagato.lg.jp](mailto:sikai.shomu@city.nagato.lg.jp)

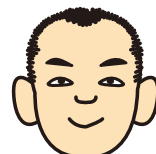
委員長



先野正宏

かつて陸上部だった私も今はお腹が邪魔で…でもそのお腹には夢がいっぱい詰まっています。

委員



重村法弘

スポーツ大好きな私の趣味はゴルフ。いつの日かオーガスタをラウンドするのが夢です。

副委員長



末永卓也

座右の銘は『前へ』。趣味は映画鑑賞と旅行、特技はゴルフな愛妻家です。

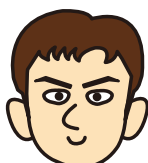
委員



岩藤睦子

いくつになっても好奇心旺盛にチャレンジする気持ちを持ち続けたいと思います。

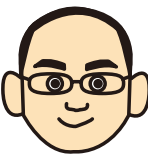
委員



林哲也

元気があれば何でもできる！議員活動も体が資本。夏バテしないように気をつけます。

委員



吉津弘之

雨にも負けず風にも負けず先輩議員の口撃にも負けず若さとも負いでがんばります。

## 傍聴にお越しく下さい

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。市政への理解を深めるためにも市議会の傍聴にぜひお越しく下さい。

## 今年も出店

### かき氷屋さん

この時季、各地区ではさまざまなイベントが開催されます。長門市議会の議員互助会は、8月3日(土)に開催されるみず七夕まつりに『かき氷』を出店します。  
みなさまのご来店お待ちしております。



- とき 8月3日(土) 18時00分～20時30分
- ところ 仙崎みず通り

## 編集後記

明治の革命を担った薩摩には「詮議(せんぎ)」という教育法がありました。「もし、こうなったら」と、子どもにさまざまな仮定の問いかけをするのです。  
▼セルスス業界では、子どもが小さい時に言う「なぜなの」が必要であると言われています。ある新聞によるとトップセールスの人は「なぜなの」を重視することのこと。▼市の活性化は、人口減少を食い止めるには、私たち議員が長門市を考えるときにも、この「なぜなの」が必要なのではないでしょうか。▼4月の改選で議員数は2人減の18人となりましたが、新しい仲間も4人加わりました。新しい視線と発想でこの議会だよりも編集をしていきたいと思ひます。



6 ながと市議会だより  
発行/山口県長門市議会  
編集/議会だより特別委員会

委員長 宏也 正也 野永 卓也 先野 正也  
副委員長 弘子 法弘 末永 哲也 林 哲也  
委員 重村 法弘 岩藤 睦子 吉津 弘之